

こんな時は救急車を要請



下のどれか1つでもあてはまれば、
保健管理センターの判断を待たず救急要請！

* 救急要請後に保健管理センターにも連絡してください。

① 意識障害

- 呼びかけに反応がない
- 眼が開けられない
- 会話ができない
(話の内容がおかしい)
- けいれん
- 繰り返すおう吐

② アナフィラキシー

(特に食後2時間以内の)

- ぐったり、顔色不良
- 脈のみだれ
- 激しい腹痛・下痢
- 咳・ゼーゼーしている
- 全身じん麻疹・発赤・むくみ

③ 脳卒中

- ろれつが回らない
- 顔面のゆがみ
- 手足の力が入らない
- 突然の激しい頭痛

④ 心臓発作

- 胸を締め付ける痛み
- 痛みが肩やあごに放散
- 著明な冷や汗
- 急な呼吸困難
- 移動する背中での激痛

* 熱中症が疑われる場合、「①意識障害」の兆候があればすぐに救急要請

意識がない時は

- ① 呼びかけに反応がない
- ② 救急要請、AED手配
- ③ 呼吸をしていない
- ④ 胸骨圧迫、AED使用
(救急隊到着まで継続)

● 胸骨圧迫のポイント

- ☞ 場所：仰向けにして胸の真ん中
- ☞ 深さ：成人で5cm以上
- ☞ テンポ：1分間に100～120回
- ☞ 絶え間なく、中断を最小限に
- ☞ 人工呼吸は自信がなければしなくてOK。胸骨圧迫を確実に実施

AED、心肺蘇生法講習会 (学内) ▶



(2024.06 作成)